

教科名	科目名	単位数
商業	ビジネス情報	3

月	学習内容	主な指導内容	その他・検定
4	オフィス業務と情報 ネットワークとビジネス	・現在のオフィスがICTなしでは運用できないようになり、今と昔のオフィスの違いを学び、未来のオフィスについて考える ・オフィスのICTの一つにネットワーク技術があり、ネットワーク技術の進歩と導入について学ぶ	
5	表計算の基礎	・表計算ソフトを使用した実習 ※初めて表計算に取り組む場合は3級を目標とし、すでに表計算3級に取り組んだあとであれば2級に取り組む	情報処理技能検定試験模擬問題集 表計算 3・4級編または2級編を使用する
6	表計算演習 I	情報処理技能検定試験 表計算3級または2級の合格を目指す 3級出題 (IF・MAX・MIN・ROUNDUP・ROUNDDOWN・ROUND・RANK・絶対参照など) 2級出題 (VLOOKUP・AND・OR・グラフ作成など)	6月上旬に情報処理技能検定試験 表計算の受験申し込みを行う
7		7月の第1日曜日に情報処理技能検定試験 表計算を実施する(ただし、前後10日間移動も可能) 検定試験実施翌週より、表計算2級または1級を学ぶ	情報処理技能検定試験 表計算の検定を実施 情報処理技能検定試験模擬問題集 表計算 2級編または1級編を使用する
9	表計算演習 II	7月に学習した表計算2級または1級の復習 情報処理技能検定試験 表計算2級または1級の合格を目指す 2級出題 (VLOOKUP・AND・OR・グラフ作成など) 1級出題 (LEFT・RIGHT・ABS・データベース関数 DSUMなど)	情報処理技能検定試験模擬問題集 表計算 2級編または1級編を使用する 9月中旬に情報処理技能検定試験 表計算の受験申し込みを行う
10	表計算演習 III	10月の第2日曜日に情報処理技能検定試験 表計算を実施する(ただし、前後10日間移動も可能) 検定試験実施翌週より、表計算1級を学ぶ	情報処理技能検定試験 表計算の検定を実施(主に再受験) 情報処理技能検定試験模擬問題集 表計算 1級編を使用する
11		情報処理技能検定試験 表計算1級の合格を目指す 1級出題 (LEFT・RIGHT・ABS・データベース関数 DSUMなど)	11月上旬に情報処理技能検定試験 表計算の受験申し込みを行う
12	データベースの基礎	12月の第2日曜日に情報処理技能検定試験 表計算を実施する(ただし、前後10日間移動も可能) 検定試験実施翌週より、データベースについて学ぶ	情報処理技能検定試験 表計算の検定を実施 情報処理技能検定試験模擬問題集 データベース 3・4級編を使用する
1	データベース演習	情報処理技能検定試験 データベース3級の合格を目指す 3級出題(インポート・テーブル・クエリ・レポート・抽出・合計・平均・最大・最小・カウント・グループ化など)	1月中旬に情報処理技能検定試験 データベースの受験申し込みを行う
2		2月の第4日曜日に情報処理技能検定試験 データベースを実施する(ただし、前後10日間移動も可 今まで学んだ技術を使用して、政府統計のデータ(e-stat)などを用い、抽出やデータ分析を行う データはインターネットから取得し、生徒自らがテーマを考え、表計算ソフトまたはデータベースソフトを使用して、資料をまとめる	情報処理技能検定試験 データベースの検定を実施
3		作成資料を発表し、生徒同士で相互評価をする	

検定試験の正式名称	日本情報処理検定協会主催 情報処理技能検定試験 表計算
	日本情報処理検定協会主催 情報処理技能検定試験 データベース

教科名	科目名	単位数	学年	授業担当者
商業	<b>ビジネス情報</b>	<b>3</b>		

使用教材	情報処理技能検定試験模擬問題集 表計算 2級編 情報処理技能検定試験模擬問題集 表計算 1級編 情報処理技能検定試験模擬問題集 データベース 3・4級編
科目のねらい 学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>表計算ソフトとデータベースソフトの知識と技術を習得させ、ビジネスの諸活動において活用できる人材の育成をする。</li> <li>データの集計・分析をするために適切なソフトウェアを選択し、ビジネスの諸活動において適切に運用する能力と態度を育てる。</li> </ul>

評価について

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトウェアを使って情報を積極的に活用する技術に関心を持ち、データを適切に処理することに意欲的な態度を持つ。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>表計算ソフトを使用し、情報を入力・計算・集計などをし、要求に対して適切に判断できる能力を有する。</li> <li>グラフによって視覚的にデータ分析、表現ができる。</li> <li>データベースソフトを使用し、大量のデータから必要なデータを抽出することができ、レポートにまとめることができる。</li> </ul>
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>表計算ソフトとデータベースソフトに対応した検定試験に合格できる。</li> <li>表計算ソフトを使い、適切な処理ができる技能がある。</li> <li>データベースソフトを使い、適切な処理ができる技能がある。</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>検定試験に合格することにより、基礎的・基本的な知識を有し、ビジネスの諸活動において情報を処理する意義と役割について理解している。</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への意欲や態度</li> <li>課題(問題集)などの提出物</li> <li>検定試験の合否・点数</li> <li>定期考査</li> </ul>